

第7回 たま エンド・オブ・ライフ・ケア交流会 が開催されました



テーマ：「『看取り』における家族のケアを考える」

日時：2016年7月9日(土)10時～12時

場所：国立看護大学校 研修棟（東京都清瀬市）

参加：病院・訪問看護ステーション等の看護職・介護職の方々35名

概要：「看取り」を支える家族をどう支えていったらよいか、「神経疾患患者の家族」と「老老介護、認認介護の家族」の事例をもとに参加者で考えました。日頃の体験や工夫を共有しながら、これからの展望を話し合いました。

①話題提供



「神経疾患患者の家族ケア」

国立精神・神経医療研究センター病院
緩和ケア認定看護師 花井亜紀子氏

療養経過において徐々に症状が進行し、様々な意思決定が求められる中で、患者さんと共にご家族も多くの苦悩を抱えています。患者さんへの直接ケアも含めて、長い経過を「ともに歩むプロセス」そのものが家族ケアになると思います。



「老老介護、認認介護の家族を支える」

公立福生病院
訪問看護認定看護師 北浦利恵子氏

ケアに携わっていく中で、その人の人生の重みを感じて寄り添うこと、本人と家族の思いに耳を傾けて一緒に考えるチームをつくるのが大切です。患者さんにご家族が、「ど真ん中」にきているかどうか、支援者はしっかりと脇役・裏方に徹しているか、改めて確認することが重要です。



②グループでの意見交換

参加者は小グループに分かれ、各職場の体験や工夫を紹介し、これからの展望を話し合いました。その後、参加者全体で共有しました。



参加者の感想（抜粋）

「エンドオブライフケアは、患者さんにご家族のニーズによって様々に異なることを実感しました。信頼関係を築いていくためには、何気ない日々の会話を積み重ねることが大切だと思いました。」

「皆さんが、日々悩みながら勤務を行っていること、自分だけが悩んでいるわけではないことがわかり、励みになりました。また色々話し合えると、肩の力が抜けるのではないかと思います。」

「とても学ぶことの多い交流会でした。話し合う中で課題が見えてきたので、これからのことを話し合う時間がもっとあるとよかったと思います。次回もよろしくお願いいたします。」

次回第8回交流会のご案内

日時：2017年1月24日(土)14:00～16:30

場所：国立看護大学校 研修棟

テーマ：調整中です。テーマに関する話題提供と意見交換も行います。

詳細はホームページ <http://tama-elc.umin.ne.jp/> もご覧ください。

次回もお待ちしております。

たま エンド・オブ・ライフ・ケア交流会
救世軍清瀬病院

笠原嘉子・大石恵子・相良君映

国立看護大学校

飯野京子・綿貫成明・長岡波子